

主要産地における令和6年産水稻の生育状況等について 第5報 (令和6年6月13日取り纏め)

作成：公益社団法人米安定供給確保支援機構情報部(令和6年6月13日)

道府県	区分	生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)	生育状況等	技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体・気象台等公表資料の抜粋)	(参考)
		年々、指標等に対する遅延等			令和6年度の品種構成の概況
北海道	(生育)	<p>(6月1日現在)</p> <p>(全道) 移植作業は平年並に進んでいる。(北海道 6月7日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並みである。(北海道空知総合振興局 6月7日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並みである。(北海道胆振総合振興局 6月7日付)</p> <p>(根室) 移植作業が順調に進んだことから、生育は平年並みとなっている。(北海道根室総合振興局 6月7日付)</p> <p>(釧路) 生育は平年並みで推移。(北海道釧路総合振興局 6月7日付)</p> <p>(上川) 平均気温がやや低く日照時間が少なかったことにより、生育は平年並みやや遅く推移している。(北海道上川総合振興局 6月7日付)</p> <p>(留萌) 生育は平年並みである。(北海道留萌総合振興局 6月7日付)</p> <p>(オホーツク) 移植作業は平年並に進んでいる。生育は平年並みである。(北海道オホーツク総合振興局 6月7日付)</p>		<p>【全国】 前年の春から続いていたエルニニーニョ現象は終息したとみられる。今後、秋にかけて平常の状態が続く可能性もあるが(40%)、ラニーニャ現象が発生する可能性の方がより高い(60%)。(気象庁 6月10日付)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で平年並み多く、オホーツク海側と太平洋側ではほぼ平年並みの見込み。日照時間は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p>	<p>「ななつぼし」及び「ゆめびりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。(農林水産省 令和6年3月12日) (出典資料は以下同し)</p>
青森	(生育)	<p>(6月10日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「青天の霹靂」は草丈が 36.3cm で 2.1cm 長く、株当たりの茎数は 4.0 本で 3.5 本少なく、葉数は 5.6 葉で平年並みだった。 「はれわたりに」は草丈が 33.1cm で 1.3cm 短く、株当たりの茎数は 6.6 本で 1.4 本少なく、葉数は 5.6 葉で平年並みだった。 「まっしろ」は草丈が 37.3cm で 1.6cm 長く、株当たりの茎数は 4.9 本で 2.9 本少なく、葉数は 5.7 葉で平年並みだった。 <p>(「地産」青森県産米技術センター-農林総合研究所 6月10日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>東北地方は6月19日頃からかなりの高温(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月斑点赤カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<p>「まっしろ」を中心とする品種構成となっている。青森のオリジナル品種である「銀河のしずく」が、耐冷性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。</p>
岩手	(生育)	<p>(6月5日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 北上では、草丈は平年より短かったが、葉数は平年よりやや多く、茎数は「ひとめぼれ」が平年より多く、「銀河のしずく」は平年よりやや少ない。 軽米では、平年と比較し、草丈、茎数、葉数のいずれも平年値を下回った。 <p>(参考) 北上、軽米の平年値は、直近5か年(令和元～令和5年)の平均値を使用。</p> <p>(岩手県農業研究センター 6月12日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>東北地方は6月19日頃からかなりの高温(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月斑点赤カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<p>「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。青森のオリジナル品種である「銀河のしずく」が、耐冷性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。</p>
宮城	(生育)	<p>(6月10日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 古川農試試験場の「ひとめぼれ」では、草丈は23.4cm(平年比95%)、1㎡当たりの茎数は250本(平年比89%)、葉数は6.2枚(平年並-0.3枚)となっており、平年と比較して茎数・葉数ともにやや少なかった。(宮城県 6月11日付) <p>(大河原) 5月中旬移植の南部早稲「ひとめぼれ」は、平年より草丈はやや長く、葉数はやや多くなっている。南部早稲「つゆね」は、5月上旬の移植では生育が旺盛、5月上旬～中旬の高温・多日照により葉の展開と分けつきの発生が旺盛だったことが影響していると考えられる。(宮城県大河原農業改良普及センター 6月11日付)</p> <p>(仙台) 「ひとめぼれ」では、管内平均で草丈が 31.6 cm (前年比 109%、平年比 112%) で平年よりやや高く、茎数は 175.7 本/㎡ (前年比 79%、平年比 79%) で平年より少ない状況となっている。葉数は 38.7 (前年並-1.7、平年並-0.3) でほぼ平年並みで経過している。田畑が強い日陰では茎数が少ない傾向がみられたが、今後分けつが進み、茎数の増加が見込まれる。(宮城県仙台農業改良普及センター 6月12日付)</p> <p>(登米) 調査地の草丈は平年並～平年より高く推移している。茎数は前年、平年より少ない傾向が見られるが、概ね順調に生育している。(宮城県登米農業改良普及センター 6月11日付)</p> <p>(大崎) 6月上旬の低温・少照の影響で、生育は停滞気味です。移植平均値の年比比較は、草丈と葉数は、葉数は+0.2枚(前年+0.5枚)、茎数は78%(前年83%)と増加傾向は低下傾向。茎数は地域や移植時期によって、移植量が大きくなっている。(宮城県大崎農業改良普及センター 6月11日付)</p> <p>(気仙沼) 水稲生育調査地の生育状況：田植え後の5月末から6月1半旬は最高気温が20℃に達しない日もあったが、茎数は、概ね目標とする生育量を確保している。(宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月11日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>東北地方は6月19日頃からかなりの高温(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月斑点赤カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<p>「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。</p>
秋田	(生育)	<p>【活着の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 移植翌日から5日間後の平均気温の推移(移動平均気温)は、概ね5月9～19日の移植日では、平年並から平年を上回っているが、最高気温が20℃に達しない日や強風下で移植された以降、移植後の灌水深が浅かった以降等は、穂代枯れが散見されている。 5月15日に農業試験場内水田へ移植したせんげん草を移植10日後に調査した結果、せんげん草 1本あたりの平均根数(A)は13.1本(平年比96%)、平均葉長(B)は5.4cm(同100%)で、AとBを乗じて求めた発根量は平年比95%と平年を下回った。 せんげん草 30本あたりの発根物量は平年比73%、根重割合が年並-4.9%と平年を下回った。 移植後10日間の平均気温は、15.7℃(平年並+0.1℃)で平年並だったが、最高気温の低い日が周期的にあり、活着は平年を下回る状況になっている。(秋田県 5月31日付) 		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>東北地方は6月19日頃からかなりの高温(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月斑点赤カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<p>「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。</p>
山形	(生育)	<p>(6月10日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平田新「はなぬき」で、草丈は平年並み、葉数は平年より少なく、茎数は平年並み、葉数はやや少なくなっている。 期間に分けが違っている圃場がある一方で、生育はほとんど進んでいないような圃場もみられる。 「つゆね」「雪若丸」も、圃場による生育のバラつきが大きくなっている。特に、移植が遅かった圃場や深水管理が続いた圃場では、茎数がほとんど増えていない。(山形県農林水産部農業技術課 6月10日付) <p>(鶴岡田川) (6月10日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 作付時期の影響で、平年に比べ草丈は平年並、葉数は「はなぬき」でやや少なく、「雪若丸」でやや多く、葉数は「はなぬき」「つゆね」で年並、葉数は「雪若丸」でやや少なくなっている。鶴岡田川域では例年に比べ圃場間の生育差が大きくなり、移植時期の遅い圃場、老花苗を移植した圃場、移植後深水管理となった圃場では、茎数が不足している状況。(山形県庄内総合支庁農業技術普及課 6月12日付) <p>(寒河江) (6月10日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「はなぬき」草丈：長い、葉数：やや少ない、葉数：平年並、葉色：平年並、「つゆね」草丈：やや長い、葉数：多い、葉数：平年並、葉色：やや短い、「雪若丸」草丈：長い、葉数：多い、葉数：やや多い、葉色：濃い。(山形県おきたま総合支庁農業技術普及課 6月11日付) 		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>東北地方は6月19日頃からかなりの高温(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「はなぬき」及び「つゆね」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつゆ」が定着している。</p>
福島	(生育)	<p>(6月4日調査) 【農業総合センターにおける水稻の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」の生育調査では、平年に比べて、本部(郡山市)は草丈が長く、茎数が少なく、主稈葉数が0.1葉少なくなっている。 会津地域研究所(会津坂下町)は、草丈が短く、茎数が少なく、主稈葉数が0.1葉少なくなっている。 <p>(浜地域研究所(相馬市)は、草丈が平年並、茎数が多く、主稈葉数が0.3葉多くなっている。(福島県農林水産部農業技術課 6月10日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>東北地方は6月19日頃からかなりの高温(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつゆ」が定着している。</p>
茨城	(生育)	<p>(水戸市) (6月10日現在) (茨城県農業総合センター-農業研究所作物研究室 6月11日付)</p> <p>【5月1日移植】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」は、「コシヒカリ」で平年より1日早く、「ふくまるSL」で平年並だった。草丈は、3品種とも平年よりやや長かった。茎数は、「あきたこまち」で平年よりやや少なく、「ふくまるSL」、「コシヒカリ」で平年並だった。葉数は、3品種とも平年よりやや長かった。 <p>【5月10日移植「コシヒカリ」】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主稈葉数の展開からみた生育は1日早かった。草丈はやや長く、茎数は平年並、葉数は減った。 <p>(龍ヶ崎市) (6月8日現在) (茨城県農業総合センター-農業研究所水田利用研究室 6月7日付)</p> <p>【4月25日移植】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」で平年より2日早く、「ふくまるSL」で2日遅い。「あきたこまち」は、草丈が高くなり、茎数がやや少なく、葉数が平年並である。「コシヒカリ」は、草丈が低くなり、茎数がやや少なく、葉数が平年並である。 <p>【5月8日移植】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主稈葉数の展開からみた生育は、「コシヒカリ」で平年より2日遅い。「コシヒカリ」は、草丈が平年並、葉数が減少し、葉色が平年並である。 		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 関東甲信越地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信越地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁)</p>	<p>「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「とちの星」が増加傾向にある。</p>
栃木	(生育)	<p>(生育概況) (5月24日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <早稲コシヒカリ> 草丈：手前市、芳賀で短いが前年並み(99%) 葉数：上野市、芳賀で少ないが、前年並み(100%) 葉色：前年と比べてやや濃い傾向 <早稲とちの星> 草丈：真岡で短いが前年並み(100%) 葉数：さくら市で多いが、前年より少ない(89%) 葉色：栗原では農研センターが濃いのが、前年並み(-0.1) <p>(栃木県農政部経営技術課 5月27日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 関東甲信越地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信越地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並みの見込み。(気象庁)</p>	<p>「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「とちの星」が増加傾向にある。</p>

<p>千葉</p>	<p>(生育状況等)</p> <p>【生育観測】(5月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月20日播種付の各種種の生育遅延(苗令の進み)は平年並み～早く、早熟は平年並み～多く推移し、順調な生育をしている。草丈は長く、葉色は平年並み～やや濃く推移している。 5月1日播種付の「コシヒカリ」は葉令、草丈、茎数共に平年並み、葉色はやや淡くなっている。播種付が早く初期生育が順調だった場合は、中干しを始める時期に入っているが、遅刈降着がみられるほ場も多く、播種付時期、播種による生育が大きい状況。 <p>(千葉県農林水産部 6月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 関東甲信越地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信越地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>向こう1か月結実性農産物が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「あきさかみ」を中心とする品種構成となっている。令和2年度から新潟県「世平作」の本播栽培が開始
<p>新潟</p>	<p>(6月10日現在の県内全域の生育観測)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」では指標値に比べ、草丈は「並」、茎数は「並」、葉数は「やや淡い」状況。 「新之助」では指標値に比べ、草丈は「並」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「やや遅い」、葉色は「淡い」状況。 <p>(新潟県農林水産部 6月11日付)</p> <p>(生育)</p> <p>(6月10日現在)</p> <p>(村)上「コシヒカリ」草丈、やや長、茎数、少、葉色、やや淡、葉数の進み、並、茎数は回復しつつあるが、播種によりその程度に差が見られる。(村上農業普及指導センター 6月13日付)</p> <p>(新)泉田 5月上旬田植えほ場の多くでは日播種数の7～8割の葉数を確保している。(新潟県農業普及指導センター 6月11日付)</p> <p>(新)潟 新潟県「コシヒカリ」の生育状況は指標値に比べて、草丈「やや短」、茎数「少」、葉数「遅い」、葉色「淡い」となっている。一方で5月連休後に播種したほ場は、指標値並に生育しており、茎数も多い。「こしいぶき」は生育は指標値並。(新潟県農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(三)条 「コシヒカリ」指標値比:草丈「並」、茎数「並」、葉数「やや短」、葉色「淡い」(三条農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(長)岡 「コシヒカリ」草丈「並」、茎数「多い」、葉数「遅い」、葉色「並」(長岡農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(南)魚沼 「コシヒカリ」管内全体 草丈、並、茎数、少、葉数、遅、(南魚沼農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(十日)町 5月中旬までには田植えしたほ場では、生育は順調に進んでいる。5月下旬以降に田植えしたほ場では、6月初旬頃の低温により葉数の増加が緩慢となっている。(十日町農業普及指導センターほか 6月10日付)</p> <p>(上)越 「コシヒカリ」「こしいぶき」とも、生育量が少ないほ場が多く、5月後半からの低温や灌水などの影響により葉数の進みや分げつの発生が遅れているほ場が認められる。(上越農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(佐)渡 5月の生育はおおむね順調で、ほとんどのほ場で中干し適期に近づいている。強風により生育が抑えられたほ場でも葉数の増加は進んでおり、5月15日頃までに播種したほ場の多くは、6月20日までに中干し適期に達する見込み。(佐渡農業普及指導センター 6月10日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきん子実」「つきあり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推奨している。
<p>富山</p>	<p>(6月11日生育観測)</p> <p>【本田での生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「てんたかく」平年と比べ、草丈は短く、茎数はやや少なく、葉色、葉齢は並となっている。 「コシヒカリ」平年と比べ、草丈は短く、茎数はかなり少なく、葉色は並、葉齢は0.4遅れている。葉齢を揃えて比較すると、平年と比べ、草丈はやや短く、茎数は少なく、葉色は並となっている。 「てんこもり」平年と比べ、草丈、葉色は並、茎数は少なく、葉齢は0.2遅れている。葉齢を揃えて比較すると、平年と比べ、草丈、葉色は並、茎数は少なく、葉色は並となっている。 「富富富」近年と比べ、草丈はやや短く、茎数はかなり少なく、葉色は並、葉齢は0.6遅れている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、茎数、葉色は近年並となっている。 <p>(富山県農業技術課 6月11日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」を中心とする品種構成となつているものの、近年高収量品種でも品質が安定している「てんたかく」及び「てんこもり」種のトップブランドに位置付けている「富富富」が増加傾向にある。
<p>石川</p>	<p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ゆきん子実」を中心とする品種構成である。近年、県オリジナル新品種の「ひやきん丸」が増加傾向にある。
<p>福井</p>	<p>(6月6日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての品種で茎数が平年より少なく、葉色も淡い傾向。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 6月7日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ハネチチセン」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。
<p>長野</p>	<p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 関東甲信越地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信越地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県オリジナル品種「風さやか」の導入を推進している。
<p>滋賀</p>	<p>(農業技術振興センター 水稲作況調査 5月31日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 草丈は、「みずかがみ」は平年よりやや短く、「コシヒカリ」は平年より短かった。 茎数は、「みずかがみ」は平年並み、「コシヒカリ」は平年より少なかった。 主幹葉数は、「みずかがみ」は平年並み、「コシヒカリ」は平年よりやや少なかった。 「きらみずき」の草丈、茎数、葉数はそれぞれ24.0 cm、103本/m²、5.4枚であった。 <p>(滋賀県農業技術振興センター 6月10日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並み多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並みが多い見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>向こう1か月いもち病、結実枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「みずかがみ」及び「白田錦」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付けが推進されている。
<p>兵庫</p>	<p>(5月29日現在)</p> <p>【東北】移植後、気温の高低温差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>【黒潮】現在、苗の生育は順調である。</p> <p>(兵庫県農林水産部 6月3日付)</p> <p>(育苗/生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並み多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並みが多い見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>向こう1か月いもち病、結実枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推進している。
<p>岡山</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中北部地域の田植時期、生育観測は概ね平年並である。 <p>(岡山県 5月29日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並み多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並みが多い見込み。(気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」「あきたこまち」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。
<p>広島</p>	<p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並み多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並みが多い見込み。(気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」、「あきさかみ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。

(生育状況等)			
愛 媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、いもち病、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」「ひめの穂」への品種変更が定着してきている。</p>
高 知	<p>(5月) 【早期稲】 生育は概ね順調。強風による葉の萎れや外葉の枯れが見られるほ場があるが、生育への大きな影響は確認されていない。 移植が遅れた一部ほ場ではスクミリンゴガイによる欠株が多く見られたほか、若いもちを持ち込んだほ場で若いもちの発生が見られた。</p> <p>【普通稲】 移植は5月初旬から始まり、最盛期は5月下旬でほぼ平年並になる見込みである。 一部で育苗期間中に若いもちやばか苗の発生が報告されている。移植後の生育は概ね順調である。 (高知県病害虫防除所 6月5日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、いもち病、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</p>
福 岡	<p>【早期水稲(夢つくし、コシヒカリ)】 早期水稲の田植えは平年並で、5月15日までに終了した(最盛期は4月下旬)。 平年並～やや高い気温で経過しており、生育は概ね順調。</p> <p>【普通水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)】 現在、6月上旬植え用の播種及び育苗作業が行われている。 田植えは、「夢つくし」で6月上旬、「元気つくし」で6月中旬、「ヒノヒカリ」で6月下旬を中心に行われる見込み。 (福岡県農林業総合試験場 5月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月12日付)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増加傾向となっている。県では「夢つくし」の拡大を推奨している。</p>
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの輝き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。</p>
宮 崎	<p>(5月中旬) 【作物の生育状況】 早期水稲は分けつ期 (宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月23日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みらい300」への作付誘導が進められている。</p>
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月15日～7月14日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつぼか」への移行が急速に進んでいる。</p>

注1：園及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を掲載情報で取り纏め。
注2：生育状況等(農地等実態調査の集計)については令和6年6月13日 16時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況(6月1日現在)(北海道農政部 6月7日)、
農作物生育状況(6月1日現在)(北海道空知総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況(6月1日現在)(北海道胆振総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況(6月1日現在)(北海道渡島総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況(6月1日現在)(北海道檜山総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況(6月1日現在)(北海道上川総合振興局 6月7日)、
農作物生育状況調査の概要(6月1日現在)(北海道留萌総合振興局 6月7日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況(6月1日現在)(北海道オホーツク総合振興局 6月7日)、
水稲作況調査(6月10日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 6月10日)、
令和6年度水稲生育定期調査結果№1(6月5日現在)(岩手県農業研究センター 6月12日)、
令和6年度水稲の生育状況について(6月10日現在)(宮城県 6月11日)、
令和6年度仙南稲作情報(第1号)(宮城県大河原農業改良普及センター 6月11日)、
仙台稲作情報2024(第2号)(宮城県仙台農業改良普及センター 6月12日)、
登米地域の稲作通信第3号(宮城県登米農業改良普及センター 6月11日)、
大崎稲作情報第3号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月11日)、
令和6年度気仙沼・南三陸稲作情報第3号(宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月11日)、
米づくり技術情報 No.8(やまがた温暖化対応米づくり)日本一運動本部 山形県農林水産部農業技術環境課 6月10日)、
おいしい米づくり情報第7号(山形県庄内総合支庁農業技術普及課 6月12日)、
東南おきたま米づくり情報№6(山形県置賜総合支庁農業技術普及課 6月11日)、
作況ニュース(第2号)(秋田県農林水産部 5月31日)、
主要な農作物の生育情報令和6年度第3号(令和6年6月10日現在)(福島県 6月10日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月7日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月11日)、
水稲生育診断速報2024№1(栃木県農政部経営技術課 5月27日)、
水稲の生育状況と当面の対策第2報(千葉県農林水産部 6月4日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第2号)(新潟県農林水産部 6月11日)、
R6岩船米生育速報(6月10日現在)(新潟県村上農業普及指導センター 6月13日)、
令和6年度新発田地域水稲生育速報№2(新潟県新発田農業普及指導センター 6月11日)、
稲作速報№2(新潟県新潟農業普及指導センター 6月10日)、
FAX稲作情報№4(新潟県三条農業普及指導センター 6月10日)、
水稲生育速報(新潟県長岡農業普及指導センター 6月10日)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報№2(6月10日調査)(新潟県南魚沼農業普及指導センター 6月10日)、
十日町地域稲作生育速報(新潟県十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会 6月10日)、
令和6年度上越地域米コシヒカリ・こしいぶき生育速報№2(新潟県上越農業普及指導センター 6月10日)、
令和6年度稲作生育速報№2(新潟県佐渡農業普及指導センター 6月10日)、
TACS情報第3号(富山県 6月11日)、
稲作情報№7(水稲レベルアップ委員会技術普及推進部会 作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会 6月7日)、
令和6年度稲作生育診断情報№1(滋賀県農業技術振興センター 6月10日)、
令和6年度病害虫発生予報第3号(岡山県 5月29日)、
病害虫発生予察情報について令和6年度病害虫発生予察5月月報(高知県病害虫防除所 6月5日)、
主な農産物の生産状況(令和6年5月16日 専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 5月22日)、
令和6年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月23日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月13日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月13日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月13日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月13日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月13日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月13日広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月13日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月13日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月13日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(5月21日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(5月21日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(5月21日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(5月21日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(5月21日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(5月21日広島地方気象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(5月21日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(5月21日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(5月21日鹿児島地方気象台)、

早期天候情報(6月13日14時30分)(気象庁)、

エルニーニョ監視速報(№381)(気象庁 6月10日)、

令和6年度病害虫発生予報第3号(農林水産省 6月12日)、
令和6年度水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月12日)